

学校番号	学 校 名
27	大垣工業高等学校(全日制)

学校教育目標	誠実にして強くたくましい心と身体をもち、心豊かな人間性と確かな知識・技術を兼ね備え、創造性に富む実践的な産業人の育成を図る。	
<p>＜ 教育指導の重点＞</p> <p>今年度の具体的な重点目標</p>	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策	達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1 生徒の学習意欲を高め、確かな力を身に付けさせる教育の推進	<p>①アクティブ・ラーニング（AL）に関して、教科ごとに目標を定めた実践を継続するとともに、AL型授業の定着を図る。</p> <p>②海外インターンシップ、プレゼンテーション大会、SDG'sに関する取組、英語力の養成を取組の軸として、グローバル人材の育成を図る。プレゼンテーション大会やSDG'sに関する取組については、教科横断的に実施できるようなカリキュラムマネジメントを行う。</p> <p>③5S運動について、学科主任の小集団活動による点検を通して、設備・物品の安全な配置や管理、安全に関する掲示を積極的に推進する。</p>	<p>①生徒による授業評価の結果</p> <p>②生徒・保護者アンケートの回答</p> <p>③研究授業・公開授業の教員間評価</p> <p>④研究授業・公開授業の実施件数</p>
2 生徒に軸足を置いた豊かな人間性を育てる教育の推進	<p>①充実した教育相談体制を維持し、生徒情報の共有化を一層進めるとともに、いじめ防止対策を迅速に実施できる体制を構築する。</p> <p>②特別な支援を要する生徒について、職員研修により理解を深めるとともに、ケース会議の開催や、外部の専門家の活用、個別の教育支援計画の迅速な作成及び適切な実施などにより、個に応じた指導を行う。</p>	<p>①前年までの統計との比較</p> <p>②いじめの早期発見と対応の状況</p> <p>③支援生徒の生活改善状況</p> <p>④外部専門家の招へい回数</p> <p>⑤ケース会議の開催回数</p>
3 一人一人が帰属意識をもち生涯を見通した進路意識を高揚させる教育の推進	<p>①「大工手帳」の一層の活用を通して、目標管理や自己管理を行い、キャリア教育を推進する。</p> <p>②朝学習について、全学科を見通したマネジメントにより、成果の向上を図る。</p> <p>③情報技術科について、進学意識の向上を図るとともに、適切な進路相談や充実した補習により、国公立大学を含む生徒の進路希望の実現を図る。</p>	<p>①「大工手帳」と「進路の手引」の活用状況調査の結果</p> <p>②卒業する生徒の進路内定率100%への達成度</p> <p>③基礎力診断テストの判定結果や、学習教材（マナトレ学習）の到達度診断の結果</p>
4 地域に開かれた信頼される学校づくり	<p>①地域産業のニーズや将来の少子化を踏まえ、特色ある学科の在り方や教育課程について検討する。特に、「専門高校生地域連携推進事業」では、日頃の授業（カリキュラム）との連携を重視した地域貢献活動を実施する。</p> <p>②地域や保護者のニーズを踏まえながら、一分堂一改善や、部活動のルールの見直し等により、教育の質を落とさない教職員の働き方改革を推進する。</p>	<p>①学校HPの更新回数</p> <p>②保護者アンケートの回答</p> <p>③地域に貢献する活動への参加人数</p>